

京都教区時報

京都教区広報委員会
(編集長 村上透磨)

京都教区本部事務局
京都市中京区
河原町通三条上る

TEL 075-211-3025

FAX 075-211-3041

honbu@kyoto.catholic.jp

Home Page <http://www.kyoto.catholic.jp> 4345

3頁～8頁 2017年 侍者合宿 感想文

9頁～10頁 絵画を通しての祈り -カラヴァッジョの作品にみる聖性と信仰の歩み-

点訳版「京都教区時報」〈無料〉
ご希望の方は点訳ネット「レジナ」代表嶽崎(たけざき)裕子さんまでお申込みください。

TEL・FAX 079-431-8601

小学生による侍者奉仕の練習

小学生の高学年になると京都教区では、侍者合宿に参加できるようになります。小教区で侍者の経験がある小学生も、経験のない小学生も集まってきます。白い衣である侍者服を着て、イエス・キリストを身にとまといながら、「侍者とは何か」をこの合宿で考えます。

毎年、プログラムは「侍者の心得」を学ぶことから始まります。侍者とは、永遠の祭司であるイエス・キリストに奉仕することであり、そのために祈ることが最も重要であると知ります。祈りこそが、イエス・キリストとのコミュニケーションであり、祈りなしには奉仕ができなくなってしまう。祈りによってイエスから侍者とは何かを教えていただくのです。また、イエスの御心は、御父と人々を愛し抜くこと。わたしたちの侍者奉仕は、神と人々に向けられているのです。

「侍者の心得」を学んだあと、行列の練習をします。永遠の祭司イエス・キリストの似姿である司祭と、共に歩むのが行列です。イエスの心を探し求めていくと、ミサに参加している一人ひとりの祈りを受け止めたいと、イエスは願っておられるのだと想像できます。侍者はイエスに奉仕する者です。イエスと心を合わせて、集まっ



2017年 召命祈願ミサ(侍者合宿最終日)
カトリック河原町教会(3月29日)

6
2017

てくださった人々の願いや祈りを祭壇へ運ぶのが、入祭の行列の侍者の役割になります。そうなる、ミサに集まってくださった方へ意識が向かいます。自分自身も祈りながら、人々の祈りを集める行列、小学生の子どもたちの足の運び方が変わっていきます。この時、初めて子どもたちは「侍者とは何か」が分かるのかもしれない。一生懸命に祈りながらキリストと共に歩む小学生を見てると感動します。

侍者合宿では、行列している仲間が、どのようにすれば、もっと美しく祈れるような行列ができるか、意見を子どもたちに求めます。「胸の前で合わせている手が下の方に、だらりと下がっている」と汚い。「隣のお友達や前後のお友達との間隔が、ちゃんと揃っていない」とバラバラに見える」などの意見が出てきます。私たちは心を表現するために形を求めてしまいます。型の誕生です。心で祈っていても、行列そのものを祈りにするために、どうしても型が必要なのかもしれません。しかし、型ありきなのではなく、心が先にあって、型が生まれるのでしよう。リーダーたちも気づかない意見が出てくる驚きを、毎回体験していきます。

ミサで用いる聖具を持ちながら行列すると、また、事情が変わってきます。道

具に意識が集中してしまい、祈れなくなってしまふのです。聖具が、自分の一部になる位に、祈る訓練をされた侍者は、大人でも少ないと思います。それを子どもたちがチャレンジするのです。道具の持ち方、手の運び方、さまざまな指摘がされていきます。小学生ですから、身体的な制約もあります。しかし、彼らは祈りの力で、それを乗り越えていきます。父と子と聖霊が全力で子どもたちをサポートしているのを目の当たりにすると、神への感謝で溢れます。

もちろん、残念なこともあります。長時間の練習ですから集中力がなくなったり、練習中にお友達とおしゃべりを始めるなど、いろんなことがありました。しかし、子どもたちの一途に神へ向かっていく無垢な祈りは素晴らしいと思います。どの子どもたちもみんな、神への祈りの心を持ち合わせているのだと。それを引き出すことができないのは、私たち大人が祈る心を忘れ、型にばかり執着しているからかもしれません。ミサに参加する人たち全員がよく祈るようにするために、この子どもたちを神はお使いになるのだと思います。

信仰教育委員会担当司祭

小立花 忠



侍者合宿

2017年 侍者合宿スケジュール

侍者合宿

	1日目 3月27日(月)	2日目 3月28日(火)	3日目 3月29日(水)
6:30		起床・布団上げ	起床・荷物まとめ
7:00		ミサ	朝の祈り
7:30			朝食
8:00		朝食	片付け・掃除
9:00		侍者練習②・朗読練習	宿舎出発
10:00			河原町教会で侍者練習
11:00		遠足準備	召命祈願ミサ
11:30		遠足(鉄道博物館)へ出発	修了証書授与
12:00		お弁当	記念撮影
12:30			
13:00			感想文(30分)
13:30			昼食
14:00		S L 乗車	解散
14:30		鉄道博物館を出発	
15:00		宿舎到着(司教様からの差し入れのジュース) 聖体賛美式	
16:00		“う〜こんどの”と遊ぶ	
17:00	集合・オリエンテーション・自己紹介 大塚司教様のお話・歌練習	DVD視聴・共同祈願作成	
17:45	夕食	夕食	
19:00		侍者練習③	
19:30	班活動(班長決定)・歌練習	晩の祈り	
20:00	侍者心得・侍者練習① 晩の祈り	お風呂(銭湯)	
21:30	就寝準備・寝る前の祈り	就寝準備・寝る前の祈り	
22:00	消灯	消灯	

スケジュール(感想文の参考に)



京都鉄道博物館

主こそ、わが光

ユスト高山右近にならう

3月27日～29日、教区小学生侍者合宿が行われました。男子15名女子13名、計28名の5～6年生がヴィアトル宗研館に集い、「主こそ、わが光」ユスト高山右近にならう」をテーマに2泊3日とともに過ごしました。

第一日目には、大塚司教が来てくださり、子どもたちにお話をしてくださったあと、夕食と聖歌の練習にも参加してくださいました。司教は、高山右近列福記念のメダイとカードを子どもたちとリーダーにプレゼントされ、右近の生涯とその信仰について話されました。子どもたちは、司教のお話を聞いて、右近がいつの時代のどういう人で、どのように生きたかを知り、右近から何を学ぶかを考えました。

子どもたちは、この合宿で「祈り・学び・遊び」をおしてイエスさまと出会い、最終日は、「召命祈願ミサ」ですばらしい奉仕をしました。



う～こんどの

感想文

高野教会 6年 佐藤 歌音

わたしは、この三日間の侍者合宿で、侍者の練習や心得から、たくさんのお話を学びました。

三日間の中で一番心に残ったのは、二日目の夕方のDVD視聴です。このDVDでは、高山右近の一生について見ました。高山右近のことがさらに詳しく知れて、わたしは高山右近さんは、とても思いやりのある、心の広い人だと思いました。なぜなら、右近は教会をつくったり、貧しい人のちりょうをしたりして、たくさんの人を救い、仏教にも関わろうとしたからです。わたしも、右近のような勇気のある、やさしい人になりたいです。

他にも、侍者合宿で楽しかったことがあります。それは、友達と遊ぶ時間や、ねる前の時間です。わたしは、同じ教会の友達と、自由時間などでいっしょにしゃべったり、遊んだりして、とても楽しかったです。これからも、仲良くしていきたいです。

そして、もう一つ心に残ったことは、侍者練習で学んだことをする、召命祈願ミサです。わたしは、マヌテルジウムの係になって、うれしかったです。本番は



合宿

少しきん張したけれど、うまくできませんでした。

わたしは、この三日間、侍者合宿で学んだことをわすれず、毎週の教会の侍者で、生かしたいです。来年は侍者合宿はないけれど、他の合宿も、楽しみたいです。

山科教会 6年 西平 士紋

二泊三日の侍者合宿題名は「主こそわが光く高山右近にならう」という題名でした。

一日目、初めて会う人がいっぱいいて、どきどきしました。侍者練習一回目、教会の中で、入る練習と出る練習をしました。初めはあまり思うようにできなかつたけど、コツとかを知って、かんぺきらへんまで、できるようになりました。

二日目、友達もどんどん増えてきました。楽しみでもあった遠足に行きました。行った場所は鉄道博物館でした。博物館にはいろいろな電車があって、どれもかっこよかったです。博物館から帰ったあと、高山右近の一生が、えがかれたDVDを見ました。その中でも、いんしょうにのこっていたのが、右近の銅像がいろんな所にあるというところで、右近はキリスト教をいろいろな所に広めていたので、ゆうしゅうなひとだと思えました。そして、まあまあ楽しみにして

いたお風呂に行きました。久しぶりではなかつたけれども、とてもきもちよかったです。

三日目、侍者合宿をおしてやってきたことを生かす召命祈願ミサ、リハーサルの時からきんちようしていました。本番ちょっとハプニングが自分のなかでおきてしまったけど、やりとげられたのでよかったです。

侍者合宿で学んだことをこれからも生かしていきたいです。

津教会 6年 川崎 美夕

一日目、初めての侍者合宿でドキドキしながら宿舎に入りました。私は少し不安だったけど、どんどん慣れてきました。友達もたくさんできました。8時に侍者合宿で初めて侍者練習をしました。賛美の意味を教えてもらったり、歩く時にどうするかを教えてもらいました。

二日目、朝にミサをしました。神父様三人にミサしてもらいました。その後朝食を高校に行きました。その後宿舎にもどって時間があつたので、ケイドロをしました。その後遠足の準備をして、鉄道博物館に行きました。最後にSに乗りました。そして宿舎にもどる時に、バスがこんでいたのですごくきつくて、たいへんで、つらかったです。

三日目、朝早く起きることを禁じられたので、6時半までねていました。準備



リハーサル

をして、朝の祈りをしました。そして、ミサで自分がたんとうするものを聞いて、私は朗読に選ばれました。すぐきんちようしながら召命祈願ミサが始まりました。私にとっては上手くできたかなと思えました。楽しかったです。とても、良い三日間になりました。私がこの三日間のなかで、一番心に残ったことは、侍者練習です。自分が知らないことを教えてもらって、とても良かったです。

西院教会 5年 荻野 貫汰

ぼくは、侍者合宿に来て一番心に残ったことは、侍者練習です。一日目の侍者練習は、入堂と退堂の練習を何度もしました。ぼくは練習をして、入堂と退堂はみんなの祈りを集めて代表でしていることだから、とても大切だなと思いました。

二日目の侍者練習の一回目は、朗読をしました。朗読で気をつけなければならぬことは、ゆっくり、はっきり、大きな声で相手に伝わりやすく読むことを気をつけました。二日目の侍者練習は、香炉の練習をしました。ぼくは、香炉はしたことがなかったけど、神父様やリーダーに教えてもらって、練習したらだんだん慣れてきました。三日目の召命祈願ミサでは、ぼくはろうそくをやって、外側のうでが上、ということに気をつけてやりました。

二日目に、高山右近のDVDを見まし

た。ぼくは、このDVDを見て、右近のキリスト教をやめなかったことがすごいと思えました。ぼくも右近を見習って、キリスト教をぜったいにやめないようにしたいです。

河原町教会 5年 スハディ マイコ

初めての侍者合宿。合宿の扉の前で私はわくわくでいっぱいだった。なぜなら、小さい頃からのあこがれだったからだ。ここから侍者合宿の始まりだった。

一日目、私は予定より早く侍者合宿に来た。そして、荷物運びを手伝い、オリエンテーションのじゅんびをして、名札作りの手伝いをした。午後の5時にいろいろな人が来た。「友達できるかなあ。」と不安になっていた。けれども、オリエンテーションの自己紹介の時間で、新しい友達が一人できた。その時は、うれしきでいっぱいだった。そこから、私は自信をもって、いろんな人と関わっていくようになった。それで夜の8時の侍者練習で、神父様の入堂する時の心のお話がとてもよくて、侍者の入堂する仕方について一つ学んだ。夜になって消灯した後、みんなでいろんな話をしてみんなと楽しみながら、私はいいねわりに落ちた。

二日目に、遠足があった。私達は鉄道博物館に行った。博物館の中に入って全



召命祈願ミサ



奉納

部は学んでいないけど、自分が知りたいことと、初めて知ったことを少しわかって、私はそれでじゅうぶんうれしかった。そのうえ、SLにも乗れたし、外の景色がよかった。帰ってから、高山右近さんのことについて、DVDを見た。高山さんは、何があってもイエス様をそんけいし、ぜったいにキリスト教をやめずに、自分の身より大切だっという内容だった。とてもキリスト教のことでいい参考だった。

三日目、河原町に行つて、侍者になってミサを行う日。これまでの侍者合宿でみんなと勉強したことを思い出して、無事にちゃんとミサを終えることができた。みんなすごくできていて、天使みただった。

私は初めて侍者をし、高山さんのすぐくキリストの学びについて、そんなけいしてたつてところを見習って、天使のような心を持ってミサを終えることができ、とてもよかった。

上野教会 5年下 蓮児

一日目の夜、侍者の心得、侍者練習をしました。そのとき、「むずかしいなあ」と思いました。歩き方や、おじぎをするのがむずかしかったです。それから二日目になりました。それで、朗読練習をしました。そのときすごくきんちょうしました。一番きんちょうしたの

は、読んできるとちゅうにまちがえてしまったからです。それからあとにまた読んで、まちがえできなかったのが、うれしかったです。そのつぎに、おみどうに行つて侍者練習をしました。そのときに、いつもつかうものや、たまにつかうもの名前の練習をしました。その使うもの名前がむずかしかったです。それから17時にDVD視聴してそれは高山右近のキリスト教の話です。その右近はキリスト教をやめなかったのがよかったです。ぼくも右近のようになりたいです。

また、道具を持ちながら歩く練習をしました。それで、持ちながら歩くのがむずかしかったです。舟と香炉の使い方や持ち方の練習をして、舟はかんたんだったけど、香炉がむずかしかったです。香炉でむずかしかったのは、もち方がむずかしかったです。それから、ミサが終わる前に修了証書をもらいました。それから、終わって記念撮影を3回とって、思い出になると思いました。

彦根教会 リーダー(大学1年) 山元 実祐

今回、初めて侍者合宿のリーダーをつとめて、多くのことを学びました。

きっかけは従姉妹に誘われたことでした。私自身も小学生のときにいくつかのキャンプに参加したことがあり、リーダーに憧れをもっていたので、やってみ



感想文



修了証書

ることになりました。高校を卒業したばかりで、しっかりとリーダーがつとめられるのか不安でしたが、いっしょに参加されたリーダーの先輩が非常に心強く、安心しました。また、同時に少しでも役に立てようがんばろうと身が引き締まる思いでした。

子どもたちとの関わりはどれも新鮮で、子どもたちから元気をもらいました。子どもたちはみな純粋で、神父様やリーダー、資料から多くの知識を吸収し多様な感想を持っていく姿には、とても感銘を受けました。また、この三日で精神的に成長し、そのことについて子ども自身もうれしそうにしている姿は、私も自分のことのようにうれしく、その瞬間に立ち会えてよかったと思いました。

今回の合宿では、あらためて「侍者とは何か」「神様と話すとは何か」を子どもたちと勉強することができて良かったです。また、今回のテーマである高山右近からは、「神を信じることへの覚悟」「キリスト信者としての生き方」を教えられました。これから始まる新たな生活に活かしていきたいと思います。

リーダーとしてはまだまだで、貢献できたことは少なく、反省点も多くありますが、リーダーとして、子どもたちと三日間過ごすことができて、良かったです。今回の経験を大事にし、もしまた機会があればリーダーをしてみたいです。



2017年 召命祈願ミサ(侍者合宿最終日)
カトリック河原町教会(3月29日)

絵画を通しての祈り

—カラヴァッジョの作品にみる聖性と信仰の歩み—

—

講師 木村太郎氏

(大阪芸術大学・非常勤講師)

講師 大塚喜直司教

福音宣教企画室では、2月の高山右近の列福式を契機として、第二ヴァチカン公会議と、それ以降となえられているキリスト者の普遍的召命と聖性について、皆さんとご一緒に考え深めていきたいと思ひ、2017年の講座を企画しています。

今年最初の講座は、福音宣教企画室としては初めて、「絵画」をテーマとして取り上げ企画した講座です。大阪芸術大学の非常勤講師である木村太郎氏をお呼びして、1600年頃に活躍したイタリアの画家、カラヴァッジョの作品の解説、またカラヴァッジョの宗教画の特徴と、それらが現代社会を生きる私たちにどのようなメッセージを、伝えるのかについてお話しいただきました。カラヴァッジョは当時、画家として大成功を

収めました。数々の犯罪を重ね、ついには殺人まで犯してしまつたという人物です。

さらに、大塚司教からは、木村氏の講演を受けて、特にパウロの回心を取り上げ、四旬節の黙想のヒントになるような話をさせていただきました。

木村氏は講演の中心的内容として、カラヴァッジョの宗教画の中から「ラザロの蘇生」「聖マタイの召命」「聖パウロの回心」の3枚の絵を取り上げてくださいました。これらはそれぞれ新約聖書に出てくる有名なエピソードですが、社会の中で否定的な立場にある人物が、神の意志によって信仰に目覚めたり、新たに命を吹き込まれるというエピソードであるという点で、共通性があると木村氏は言います。そして絵の解説をし、そこか

ら導き出される3つの特徴を、次のように挙げていただきました。

一つ目は写実性です。写実性は絵を見る鑑賞者に、宗教上の奇跡がいままさに自分の目の前で起こつたかのような錯覚を与える機能を持っていると言えます。

二つ目は光と闇の強烈なコントラストです。これは画面をドラマティックにする効果を持つものですが、カラヴァッジョの場合はそれにとどまらず、光と闇には宗教的な意味が与えられている可能性がきわめて高いと言えます。すなわち光は、神の恩寵、神の意志、神の救済を暗示し、闇は、俗の世界、罪の世界、死の世界を暗示しているということです。

三つ目は特に画期的で斬新な点と言えますが、個人の内面で起こる私的な出来事として、宗教的な奇跡を描き出していることです。つまり宗教上の奇跡というものとは、他人の目に見える客観的な出来事ではなく、個人の心の中で人知れず静かに起こるものだという考え方です。

これらの特徴から木村氏は、カラヴァッジョの宗教画が現代社会を生きる私たちに与える宗教的メッセージとして、次のようなことをお話ししてくださいました。



ラザロの蘇生



聖マタイの召命

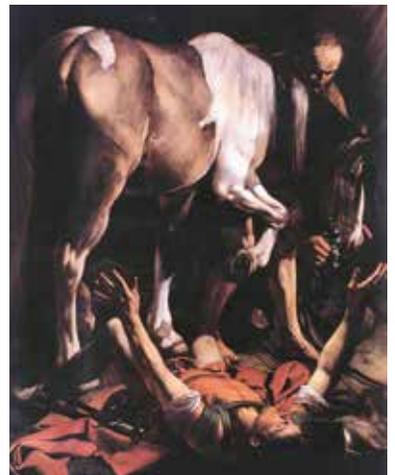
カラヴァッジョの宗教画ではキリストが目立たなく描かれたり、画面に描かれなかったりするが、その代わりに光というものが神の恩寵や意志を示すものとして強調されている。それはキリストという肉体的な、物質的な存在が地上になくても、神の恩寵や救いのしるしはたしかにこの世に存在するということを、画家が主張したかったからではないかと考えることができます。また「聖マタイの召命」の右側にいるキリストやペトロと、左側にいるマタイと商人たちでは衣服の時代が異なるという点は、神の光は時代を超える、そしてパウロやマタイやラザロのような、どんな闇の中にいる人々も照らしうるというメッセージとして、理

解することができるでしょう。そのような日常のいたるところに潜んでいる恩寵のしるしに気づくことができるか、また気づいたときに自分の生き方を顧みることができるか、ということがカラヴァッジョの絵から私たちが受け取ることができるメッセージではないでしょうか。

続いて大塚司教は木村氏の講演を受け、カラヴァッジョの視点はパウロの回心と似ているという観点で、パウロの回心の理解について次のお話しくださいました。

パウロはキリストを迫害しているときには自分が闇の中にいることにも気づいていなかったが、この体験によってそれに気づき、さらに自分が闇の中にいるということを感じさせたのは神の光であり、気づいた内容も神の思い、考え、計画であるということを知った。パウロは神の光に照らされて本当のことがわかるようになったが、カラヴァッジョも俗や日常、罪人の中に光を見るセンスがあったのではないか。

ちょうどこの講演の週の主日(四旬節第四主日A年)の福音朗読は、生まれつき目の見えない盲人が見えるようになるという話(ヨハネ9・1〜41)、第二朗



聖パウロの回心

読はエフェソの信徒への手紙(5・8〜14)「光の子」で、パウロの回心とともに味わうのにふさわしい。これらの箇所は、霊的に盲目的な私たちには神からの照らしが必要であるということ、自分が闇の中にいること自体を神に照らしてもらわなければならず、それを深く悟り光の中を歩く者となるように教えている。

最後に現代のメッセージとして、私たちもみな俗であり、福者となった高山右近も俗であったが、最期死に至るまで神に導かれて闇の部分が照らされ、光に変わっていった姿に倣い、私たちも歩んでいくことが大切であると言われました。

福音宣教企画室

6月のお知らせ

教 区

聖書委員会 / Tel.075(211)3484 ㊦㊧

聖書講座「聖書で祈る」

日 時：7日㊦ 19:00 8日㊦ 10:30

テーマ：苦しみの神秘

講 師：村上 透磨師

日 時：21日㊦ 19:00 22日㊦ 10:30

テーマ：復活の神秘

講 師：一場 修師(マリスト会)

会 場：河原町教会 ヴィリオンホール

よく分かる聖書の学び

日 時：21日㊦ 10:30

講 師：北村 善朗師 / 参加費：300円

会 場：河原町教会 ヴィリオンホール

福音宣教企画室 / Tel.075(229)6800

病者高齢者訪問講座 I

「聖書における病人のいやし」

日 時：8日㊦ 14:00

講 師：一場 修師(マリスト会)

会 場：河原町教会 ヴィリオンホール

受講費：300円

京都教区カトリック正義と平和協議会

講演会「となりのイスラム」

日 時：17日㊧ 14:00~16:00

講 師：一場 修師

会 場：河原町教会 ヴィリオンホール

ブロック

奈良ブロック

聖書講座－真福八端－

マタイによる福音 5章3節～10節

教皇フランシスコ、福者高山右近、

聖なる人々と共に

日時会場：9日㊦ 19:00 大和郡山教会

10日㊧ 10:00 奈良教会

福 音 書：マタイ 5・7

講 師：中川 博道師(カルメル会)

日時場所：23日㊦ 19:00 大和八木教会

24日㊧ 10:00 奈良教会

福 音 書：マタイ 5・8

講 師：山下 敦師(大分教区)

修 道 会

男子カルメル修道会(宇治修道院)

Tel.0774(32)7016 Fax.(32)7457

社会人のための霊的同伴(九里 彰師)

日 時：2日㊦ 20:00～3日㊧ 15:00

参加費：6,500円

カルメル青年の集い(中川 博道師)

日 時：4日㊧ 10:00～16:00

テーマ：キリストの過越しの実り聖霊降臨

参加費：要問合せ

水曜黙想(中川 博道師)

日 時：7日㊦ 10:00～16:00

参加費：3,000円

聖書深読(中川 博道師)

日 時：27日㊧ 10:00～16:00

参加費：2,500円

English Retreat(Sr. Rosa)

日 時：10日㊧ 10:00～16:00

(10th Sat. 10am to 4pm)

テーマ：A day with St. Therese

参加費：要問合せ

諸 団 体

京都カトリック混声合唱団

練 習：11日㊧ 14:00 / 24日㊧ 18:00

カトリック会館 6階

コーロ・チェレステ(女声コーラス)

練 習：8日㊦ 10:00 / 22日㊦ 10:00

29日㊦ 10:00

カトリック会館 6階

聴覚障がい者の会(どなたでも参加可)

手話表現学習会(聖書と典礼)

日 時：8日㊦ 13:00

会 場：カトリック会館 6階

心のともしび 番組案内

テレビ(衛星スカパー・ケーブル)スカイ A

毎週土曜日 朝 7:45

シリーズ「私のキリスト道巡礼記」

出演は橋本 勲師(長崎教区)

ラジオ(KBS京都) ㊦～㊦ 朝 5:55

㊧ 朝 5:15

6月のテーマ「先取りする」

※ 8月号の原稿締切り日は6月28日㊦です。

大塚司教の

6月のスケジュール

Schedule of Bishop Otsuka



- 1日(木) 10:00 中央協 常任司教委員会
 2日(金) 14:00 京都南部 司祭集会
 3日(土)-4日(日) 神学生志願者合宿(望洋庵)
 4日(日) 14:00 京都南部 合同堅信式
 (河原町)
 5日(月) 14:00 (社福)カトリック京都司教区
 カリタス会 理事会
 6日(火) 13:30 教区カトリック学校 校長会
 7日(水) 14:00 ペトロ山田右師 50日祭追悼ミサ
 (衣笠)・衣笠墓苑納骨式
 8日(木) 10:00 福音宣教企画室会議
 11日(日) 10:00 奈良合同堅信式(大和郡山)

- 13日(火)-15日(木) 京都教区 司祭・司牧者研修会
 16日(金) 12:00 京都聖母学院 理事会
 17日(土) 12:00 旧河原町天主堂ミサ
 (明治村 巡礼)
 18日(日) 10:30 京都教区司教座聖堂
 献堂50周年感謝ミサ(河原町)
 20日(火) 14:00 大阪教会管区 結婚法務
 担当者会議(京都司教館)
 23日(金)-24日(土) 聖母の小さな学校 訪問
 25日(日) 10:00 (京都)京丹ブロック大会
 (丹波・園部聖堂)
 26日(月) 14:00 司教顧問会
 27日(火) 14:00 教区 幼稚園・保育施設 園長会
 28日(水)-29日(木) 日本カトリック神学院・
 常任司教委員会(福岡キャンパス)

新年度青年センター 運営委員挨拶

< 京都南部地区 >

今年度から京都南部の運営委員となりました。青年たちが、自分らしく活動できるように支援していきたいと思っております。お祈りとご支援をお願いします。
 (西舞鶴教会 小林 真衣)

昨年度に引き続き今年度も運営委員をさせていただきます。人と人との間に神様のお恵みを感じながら、たくさんの方と繋がっていきたく思います。ご支援お祈りをよろしくお願いいたします。
 (河原町教会 奥埜 のぞみ)

京都南部地区の運営委員に戻ってきました。松浦です。昨年度までは事務員として関わらせていただいていたので、その経験を活かして頑張っていきたいと思います。
 (九条教会 松浦 歌織)

皆さんと楽しく活動できれば幸いです。最初はあたふたすると思いますが、宜しくお願いします！
 (田辺教会 松浦 隼人)

< 京都北部地区 >

北部の運営委員を今年度も継続します小林まなつです。よろしくお祈りします。
 (西舞鶴教会 小林 まなつ)

今年度から運営委員になりました。初めてのことばかりですが、明るく楽しく笑顔で頑張ります！ よろしくお祈りします。
 (西舞鶴教会 小林 まゆか)

< 滋賀地区 >

今年も引き続き運営委員を担当させて頂きます。青年センターでは聖書を通して共に分かち合ってお祈りをし、青年との交流を大切にしています。そんな場所があることを、もっとたくさんの青年たちに知ってもらえるよう努めていきます。お祈り頂ければ幸いです。
 (唐崎教会 木村 哲朗)

< 三重地区 > (伊勢教会 濱口 聡子)



【青年センターHP】 携帯からでもご覧いただけます。 <http://www.kyoto.catholic.jp/seinen/>

青年センターあんでな